

今号の内容

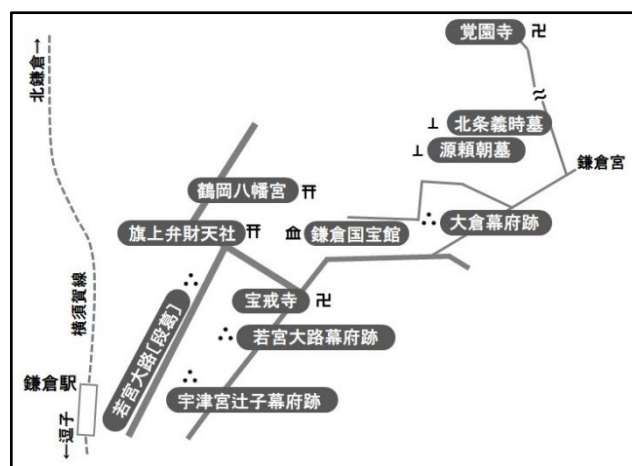
- 鎌倉殿と北条氏ゆかりの地を巡る
- 図録紹介「くらしの水」
- ミニ扇だこ作り
- 写された富士見市
- 冬のイベント情報

鎌倉殿と北条氏ゆかりの地を巡る -市民学芸員管外研修-

市民学芸員 横井 郁子



覚園寺にて集合写真



研修訪問地略図

10月6日(木)、市民学芸員の管外研修として14名で鎌倉を訪れました。

今年のNHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』では北条義時の生涯が描かれ、いよいよ佳境の承久の乱(1221年)を迎えます。朝廷と鎌倉幕府の戦いは幕府側が勝利を収め、北条氏の執権政治が本格化します。その戦いに難波田氏の始祖とされる金子小太郎が幕府側で参戦し討死。その恩賞として難波田(現南畑)の地を与えられ、子孫が難波田氏を名乗ったそうです。

そこで、今回は北条氏ゆかりの地を中心に鎌倉の寺社、史跡、博物館を訪ねてみました(略図参照)。

一番のお勧めは「覚園寺」です。1218年に北条義時が戌神将のお告げによって建てた大倉薬師堂が前身。このお告げのおかげで義時は翌年の「源実朝暗殺事件」の際に難を逃れたといわれています。茅葺の薬師堂には鎌倉を代表する薬師三尊座像・十二神将立像が祀られており、その厳かな佇まいに圧倒されました。また、国指定史跡の境内は苔むす庭園や趣ある荘厳な木々が生い茂り、静寂な空間は中世の鎌倉にタイムスリップしたようでした。

鶴岡八幡宮境内にある「旗上弁財天社」は1182

年に北条政子が建立。承久の乱の際に幕府軍が旗揚げし戦勝を祈願したとされています。政子が「頼朝様の恩は山よりも高く海よりも深い…」と、御家人達を鼓舞したという有名な伝説を思い起こしました。

「宝戒寺」は1333年の北条氏滅亡後、一族の霊を弔う為に後醍醐天皇が足利尊氏に命じ、北条執権屋敷跡に建立させたお寺です。毎年9月に境内一面に白萩が咲く「萩寺」としても有名。花の見頃は過ぎていましたが、萩の枝に埋め尽くされた境内は圧巻で、北条高時と共に自害した800余人を供養しているかのようでした。

「鎌倉国宝館」では学芸員に常設展と北条氏特別展を案内して頂きました。鎌倉時代の木造仏像は、寄木造り技法により分業、軽量化され、玉眼(水晶をはめ込む技法)でよりリアルな表情が出せるようになったそうです。実朝暗殺や承久の乱にまつわる話も興味深く、源実朝座像や承久記絵巻も見ることができ、中身の濃い時間を過ごすことができました。

頼朝や義時のお墓を訪ね、鎌倉幕府150年間で移り変わった3か所の幕府跡も巡り…“武家の古都鎌倉”をじっくり味わい、実り多い研修となりました。

市民学芸員のページ *このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。

難波田城 ちょっと拝見 みどころ紹介

図録『くらしの水』

本図録は市内の人々の水との関わりを紹介したものです。ここでの概略を紹介していきます。

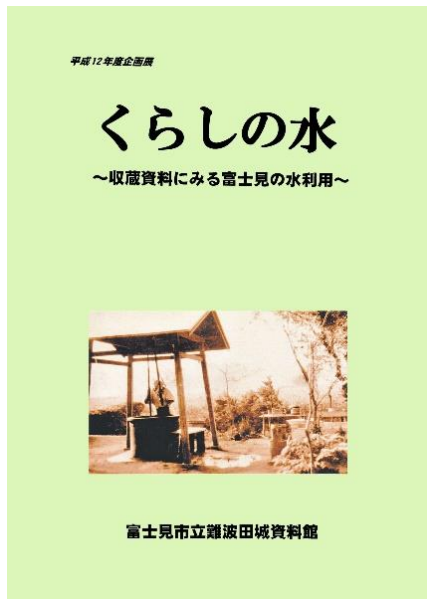
富士見市域は大きく武蔵野台地、荒川低地に分けられます。原始、古代、雨水や湧水に頼って稲作や畑作をしていました。

その後、用排水の整備を進めましたが、取水は簡単ではなく、干ばつに見舞われることも多々ありました。一方では大雨による水害にも苦しめられていました。

日常生活における取水方法は、昭和四十年(一九六五)に富士見町が水道の給水を始めると、井戸が主要なものでした。市内で見られた井戸の種類には「つるべ井戸」「自噴井戸」「はねつるべ井戸」「平井戸」等があり、地域により使い分けられていました。これらは、昭和十年(一九三五年)頃から手押しポンプに変わり、その後モーターポンプになりました。

また、水を用いる職業として、舟運業の他に、水車業、染織業、製氷業、酒造業が市内に存在していました。

図録ではさらに、水に関する信仰なども紹介されています。



平成12年度企画展
くらしの水
～収蔵資料にみる富士見の水利用～



富士見市立難波田城資料館

資料館窓口にて100円で販売中

なお本図録は資料館ホームページにてPDFファイルで公開、また資料館窓口では百円で販売されています。(内藤 恒義)

おもしろ・なつかし体験⑦

ミニ扇だこ作り

このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

9月10日のちょこっと体験は「ミニ扇だこ作り」でした。

扇だこは幕末から富士見市で伝承されてきた郷土工芸です。今回は普段作る大きさの3分の1サイズのものを作ってもらいました。なお、骨の組み立て、たこの左右の部分に紙を貼り付ける作業は事前に準備し、中央の部分の紙に色付けし貼り付ける作業を参加者の皆さんに体験してもらおう形にしました。

まず描くキャラクターの選択。金太郎、桃太郎、牛若丸、熊谷直実の中から好きなものを選んでもらいます。ここから色付け、紙貼りを完成まで。親子他15名の皆さんがチャレンジしました。

さぁスタート。子供たちの色の選び方は、大変カラフルでとてもきれいな仕上がりです。大人の方は

シンプルな色付けですが真剣にしっかりと隅々にまで塗っていました。また、絵柄は子供たちには金太郎、大人の方には牛若丸が人気でした。そして、キャラクターのある部分の紙貼りは、シワにならないように皆さん丁寧に仕上げていました。

完成すると「できたぞ～」と喜んだり、「家の宝物にしますよ」とおっしゃってくれました。そして参加者の方々は達成感いっぱいの様子で大切に持ち帰っていただきました。

次回の開催も楽しみにしてください。多数の参加をお待ちしております。

最後に材料、組み立て等協力していただいた扇だこ保存会の伊藤氏に深く感謝申し上げます。

(早川 純彦)



人の創ったもの★人の使ったもの

写された富士見市

本年4月、富士見市は市制施行から満50年を迎え、市内で数多くの関連イベントが開催されています。当館でも、10月15日から来年1月9日まで秋季企画展「写真でたどる富士見市の50年」を開催中です。

展示のあらまし

展示は「1972年のできごと」と年表のみ文字パネルで、他はすべて写真パネルです。原則各年1枚、その年の富士見市を象徴する写真を選びました。

また、市制施行直後と現在の市内風景の比較や、富士見市を見守ってきた富士ビル（解体工事中）を取上げたコーナーもあります。

現代をテーマとする展示では、来館者は自らの記憶とリンクさせながら見学します。展示側の意味づけを文字で押しつけるよりも、さまざまな情報が記録された写真から、撮影テーマに関する経験にとどまらず、被写体の服装や背景などから、風俗や世相の変化を読み解かれることと期待しています。

広報写真

展示で使用した写真の大半は「広報ふじみ（富士見）」に掲載するために撮影されたもので、ネガやプリントが市役所の広報担当に保管されています（一部は当館に移管済み）。広報のバックナンバーから展示候補を選び、元写真を探しましたが、一部は見つ

このコーナーでは、地元に関する資料を紹介します。普段気に止めないものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。

からず、紙面をスキャンしました。

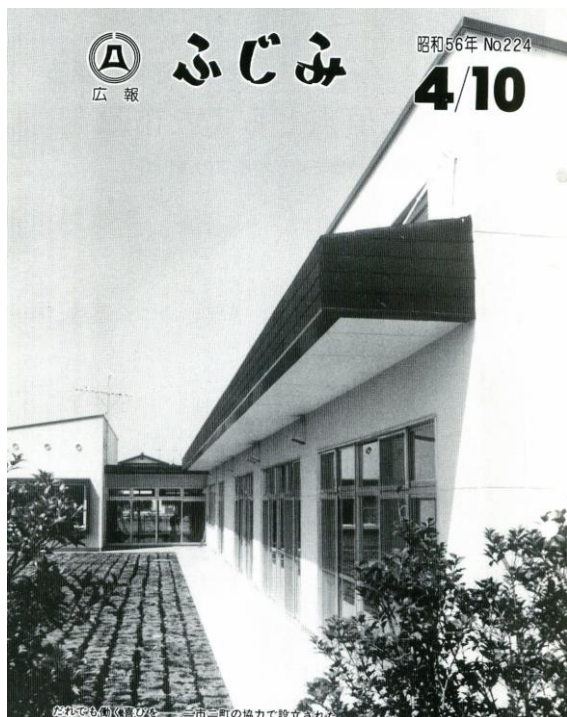
市内で開催されてきた主なイベントや施設の開設などが記録されています。ただし、公的なものに偏り、民間の店舗・施設やイベントの記録は乏しいのが残念です。また、かつての紙面が白黒であったことと、コストや保存性の面から、白黒写真が主体で、少しリアルさが不足します。

2000年頃からはデジタルカメラでの撮影なので、要望すればすぐにカラーのデータを送ってもらえました。軽さは素晴らしいですが、なんらかのトラブルでデータが消失するリスクと裏腹です。

「普段」・「普通」は残らない

歴史資料一般に共通することですが、写真は基本的に「記録したい」と思ったもののみ残されてきました。「非日常」、「特殊」に偏っています。昔の普段の食事や普段の暮らし、普通の家などの写真は探すのに苦労します。

現在、スマホの普及により、多くの人が日常的に写真を撮るようになりました。ネットでは、毎日の食事や何気ない日常をSNSに次々投稿する人々があります。同時代人の目では「何のため？」と感ずることもありますが、時が経つとともに貴重な歴史資料になっていきます。（早坂廣人）



1981年(昭和56年)むさしの作業所開設



2010年(平成22年)シャバツ市の市民訪問団来日

＊ ＊冬のイベント予定＊ ＊

掲載したイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止・変更となる場合があります。

●企画展情報

令和4年秋季企画展

「写真でたどる富士見市の50年」

富士見市は、今年、市制施行50周年を迎えました。それにちなみ、写真や年表で、富士見市の50年をたどります。

会期／1月9日(祝)まで 会場／特別展示室

●扇だこ講習会(全2回)

かつて富士見市の特産品として知られた郷土民芸「扇だこ」を骨組みから絵付けまで作ります。

とき／12月3日(土)・4日(日)

全2回 午前10時30分～午後3時

定員／4人(中学生以上、申込順)

参加費／1,000円(材料代)

会場／講座室

指導／富士見市扇だこ保存会

持ち物／エプロン(前掛け)、昼食

にぎりばさみ(持っている方)

申込み／随時、電話か直接

●ちよっ蔵市「つきたてのお餅」

つきたての餅の販売をします。

とき／12月25日(日) 午前11時～売切れまで

会場／旧金子家住宅

価格／1パック250円

主催／難波田城公園活用推進協議会

●正月飾り材料の予約販売

受付／12月1日(木)～12月18日(日)に電話で
※締切り後のキャンセルはご遠慮ください

引渡し／12月27日(火)午前11時～午後3時

資料館ホールで

費用／1組1,100円(橙無し)

●ふるさと体験「正月飾りづくり」

とき／12月27日(火) 午後1時～3時

対象・定員／市内在住・在勤者8人

(応募多数の場合は初参加者優先)

参加費／1200円(材料代)

会場／旧金子家住宅

指導／きかわまつお吉川節男氏

申込み／12月1日(木)午前9時から電話で

●古文書入門講座(全3回)

市内に残された江戸時代の古文書を解説しながら、当時の歴史や文化を学びます。

とき／1月22日(日)、2月5日(日)、2月19日(日)

午後1時～3時

定員／16名

参加費／無料

会場／講座室

講師／山野健一(当館職員)

申込み／随時、電話か直接

●ちよっ蔵市「マユ玉ダンゴ」

小正月に農作物やマユの豊作を願って飾る「マユ玉ダンゴ」を作り販売します(おしるこなどに入れて食べられます)。

とき／1月22日(日) 午前11時～売切れまで

会場／旧金子家住宅 価格／1パック200円

主催／難波田城公園活用推進協議会

●ふるさと体験「古民家で手作り味噌」

手作業の味噌づくりを体験し、自作の味噌(2kg分)を持ち帰ります。

とき／2月25日(土) 午後1時～3時

対象／市内在住・在学・在勤で中学生以上

定員／15名

(申込み順。小学生以下同伴可。初参加者優先)

参加費／1,500円(材料代)

会場／旧金子家住宅

持ち物／エプロン、三角巾、容量3ℓ以上の容器

申込み／2月1日(火)午前9時から電話で

ちよっ蔵市(難波田城公園活用推進協議会主催)

12月25日(日)もちつき

1月22日(日)マユ玉団子

2月 お休み

・田舎まんじゅう販売
第1、3日曜日10:30～

※他にも様々なイベントがあります。各イベントの詳細は、広報「富士見」やポスター、チラシ、公式サイトなどでお確かめください。

年末年始の休館のお知らせ

資料館と古民家は12月29日(木)から1月3日(火)まで休館です。公園は無休で、午前9時から午後5時まで開園しています。



難波田城
FUJIMI MUNICIPAL MUSEUM

富士見市立難波田城資料館

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

TEL. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/index.html

◆休館日／月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間／午前9時～午後5時

◇公園休園日／なし 開園時間／午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)

資料館公式サイト

